

子ども家庭総合支援拠点って？

- ▶保健センター1階に子ども家庭課が移転
- ▶妊娠期から子育てまで継続した支援の拠点に！



入り口には、子育てに関する各種チラシを設置

子ども家庭総合支援拠点では、子どもとその家庭、妊産婦を対象に、子どもに関する相談全般や、必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行います。

また児童手当や児童扶養手当等の問い合わせ、手続きも行っています。

【利用者のかたの声】

「移転後に初めて来ました。とても暖かいイメージですね。育児について自分でネットなどで調べていると、不安になることもあって…。ここにきて前から相談にのっていただいている保健師さんがいると、ほっとするんです。」

【保健師から】

「ここには私たち保健師と家庭相談員がいます。なんでも気になることがあれば、気軽に声をかけてください。」



この日も子ども3人を連れて、保健師に相談に来たお母さんの姿がありました

議会TOPICS

5/30

県への要望活動を行いました

正副議長は、牛久市長、牛久市選出県議会議員とともに、

「国際会議等における牛久シャトー醸造酒類の取り扱い」について茨城県への要望活動を行いました。



6/19

豪雨災害に関する要望書

6月2日・3日の豪雨により、市内では床上浸水、道路冠水による車両の水没や道路の陥没、土砂崩れや法面の崩れ、倒木被害の他、水田や畑の冠水など農作物への被害は深刻なものとなっています。



これを受けて議会では市長に対し、早期復旧に向け関係各所と連携した迅速な対応や災害復旧及び災害対応の予算の確保、復旧や支援の状況をホームページや広報紙により広く周知を行うことなどの要望書を提出しました。

6/19

本会議中に火災発生を想定避難訓練を行う

本会議中に給湯室付近から火災が発生したと想定し、避難訓練を行いました。議場の避難経路を確保し、傍聴者の避難誘導担当も適切に傍聴者を誘導し、階段を使い安全に避難をする段取りを確認しました。

編集後記

取手市に義援金届ける
浸水など甚大な被害が出た取手市に議長が市議会を代表して、義援金を届けました。

牛久市議会だよりの編集作業は、皆様に分かりやすくお届けする大切な役割を果たしています。

編集作業はまるで宝探しのようなもの。地域のニュースやイベント情報、市議会での活動など、さまざまなトピックを探しては、ワクワクしながら編集していきます。時には情報の中に隠れたお宝を見つける事もあります。皆様にとってもお宝情報があるといのですが。

また、今回保健センターに新たに開設した子ども家庭総合支援拠点の取材を通して、市民の方のご意見を伺い、保健師や相談員の方のつながりがとても大切であることを実感しました。

牛久市議会だよりは、地域の皆様との大切な架け橋です。これからも面白くて役立つ情報をお届けするために、全力で頑張っております。(水)

- 広報常任委員会
委員長 山本 伸子
副委員長 水梨 伸晃
委員 磯山 和男
大森 和夫
伊藤 知子
出澤 大
高嶋 基樹